

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	医療概論		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

昨今の医学・医療技術の進展は目覚ましい。我が国は少子高齢化となり、より一層保健医療福祉の充実が望まれる。その保健医療は誰のものかといえば私たち国民のものであることは言うまでもない。誰もが安心して保健・医療・福祉を利用することができるよう、医療に関する基礎的知識を理解しておくことは大切である。ここでは医療の歴史や、身近な、日本の保健医療サービス、医療保険の仕組みより良い活用のための知識、医療をめぐる倫理や問題と対策などについて学習することを目的とする。なお、質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義中心 動画視聴、レポート 2回程度メディア授業を実施する。オンデマンド

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス 医療を支える人々 医療とは何か	医療とは何か、医学との違いは？について理解する。 チーム医療、コメディカルの役割について理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	保険制度の始まりと国民の健康の全体像について学ぶ。	医療サービスの在り方を理解し、サービスが適切なものであるか、上手に利用できるかどうか判断できるようにする。日本の国の健康の全体像を理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	医療の歴史	医療の歴史を知ることで現在、未来の医療について考える。	<input type="checkbox"/>
第4回	医療の新しい形態	少子高齢化の中での医療や介護の仕組みを理解する。 医療保険制度とその仕組みを理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	医療と経済	医療の抱える経済的な制度の在り方とその効率性について理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	医療の実際 安全と信頼	日本の医療の安全性と信頼について学び、国民の協力についても考える。	<input type="checkbox"/>
第7回	医療の発展 1	医療の各分野の発達について学び、現在の医療の在り方について理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第8回	医療の発展 2 課題レポート	医療の各分野の発達について学び、現在の医療の在り方について理解を深める。レポート課題の実施	<input type="checkbox"/>
第9回	現代医学の発達	現代医学の発達によって人々にどのような利益をもたらしたか理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第10回	日本の近代化と医療の発達	日本における医療制度の発達について理解する。	<input type="checkbox"/>
第11回	現代の人口環境と健康問題	人口環境と健康問題について地域差に着目して理解する。へき地医療など	<input type="checkbox"/>
第12回	チーム医療	現代の医療現場で求められる「チーム医療」の基本的な構成メンバーや組織について理解する。	<input type="checkbox"/>
第13回	チーム医療を支えるシステム	「チーム医療」の理念や仕組み、利用方法について理解する。在宅医療、救急医療など病院外での医療について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	診療ガイドライン 課題レポート	診療ガイドラインについて理解するとともに、患者の権利について理解する。医療概論で印象に残った問題についてレポートする。	<input type="checkbox"/>
第15回	日本の医療のこれからの課題	医療における倫理観について考える。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

①シラバスに関わる内容の確認、用語を調べる。事前学習2時間 ②授業後は配布資料を読み返し、不明点が次回質問できるようにする。事

後2時間 ③新聞やテレビ、などから医療に関する記事に注目し、知識をもって参加する。事前2時間

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは、全体で共有する機会を持つ。①講義の後に課題レポートの提出をする。②到達目標に沿った内容に関し、課題を実施する。③授業内に考えた、意見や質問を発出する。又は自ら調べる。 など

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	日本の医療の現状を説明できる。最先端の医療とここに来るまでの歴史について説明できる。医療の活用方法について意見を述べる事ができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	医療の問題と対策について自分なりの意見が述べられる。同時にレポートすることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

1. レポートは講義中盤、終盤に課題を400字程度で論理的に記述し、その評価をする。2. 授業内に小テストを行う。参加ルールに沿って参加し、課題に答えた内容を評価する。3. 自ら意見や質問を行えるか評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	健康管理士一般指導員テキスト (1) 日本成人病予防協会	
2	健康管理士一般指導員テキスト (6) 日本成人病予防協会	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	千代豪昭、黒田研二「学生のための医療概論」医学書院	
2	厚生統計協会編 国民衛生の動向	
3	柳沢信夫 現代医学概論 医歯薬出版株式会社	
4	日野原重明 だから医学は面白い 日本医事新報社	
5		